

## 全国月間火山概況（平成 26 年 10 月）

御嶽山では、火山活動には低下傾向がみられるものの、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性があります。火口から 4 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。

桜島では、爆発的噴火が発生するなど活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島では噴火は発生しませんでした。引き続き、火山活動は高まった状態で経過しており、新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

西之島では、噴火及び溶岩の流出が継続し新たに形成された陸地の拡大が確認されています。西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲では噴火に警戒してください。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

阿蘇山では、22 日夜遅くから 23 日未明にかけて、中岳第一火口でごく小規模な噴火が発生したと考えられます。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられます。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山活動が高まっており、今後の状況によっては小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断し、24 日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島では、噴火が時々発生するなど活発な火山活動が継続しました。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

蔵王山では、火山性微動が 4 回発生し、8 日及び 19 日に御釜の湖面の一部に白濁が確認されています。今後の火山活動の推移に注意してください。

11 月 11 日現在の各火山の火山現象に関する警報及び予報の発表状況は表 1 のとおりです。

**表 1 11 月 11 日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況**

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	御嶽山、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島*
	レベル 2（火口周辺規制）	草津白根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島*、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場*
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若草、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

## 【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

### 蔵王山[噴火予報(平常)]

火山性微動が4回発生し、火山性微動発生時には、傾斜計の変動も見られることもありました。8日及び19日には御釜の東側湖面の一部に白濁が確認されています。GNSS<sup>1)</sup>による地殻変動と噴気活動に特段の変化はみられません。

8月以降、火山活動の高まりがみられます。過去の活動期には、突発的な噴気孔の生成や、火山ガスの噴出等の現象があったことから、観光や登山で火口に近づく際には十分注意してください。

### 草津白根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が、消長を繰り返しながら多い状態が続いていましたが、8月20日以降やや少ない状態で経過しています。地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。また、全磁力観測による5月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7月以降停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

### 御嶽山[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

火山活動には低下傾向がみられるものの、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性があります。

9月27日の噴火発生後も火山灰を噴出するような噴火が続いていましたが、噴煙に含まれる火山灰

の量が少なくなり、10月10日21時過ぎからは、噴煙が白色となっています。

山麓で実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は、10月4日頃までは1日あたりおよそ500～1,500トンで推移していましたが、その後は1日あたりおよそ100～500トンとやや少ない状態で推移しています。

火山性微動は、噴火発生前の9月27日11時41分頃から発生しましたが、10月7日以降は検知できない程度の大きさになっています。火山性地震は、噴火発生直後は多い状態でしたが次第に減少し、10月7日以降はやや少ない状態で経過しました。

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では火山活動によるとみられる特段の変化は認められませんでした。

御嶽山の南東約3kmに設置している傾斜計では、9月27日の噴火発生の7分前から山側上がりの変化がみられ、噴火とともに山側下がりとなるような変化が観測されました。その後も緩やかな山側下がりの変化が続いています。

火口から4km程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

### **伊豆大島[噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]**

24日及び29日から30日にかけて主に島の西部を震源とする火山性地震が一時的に増加しました。低周波地震や火山性微動は観測されていません。

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、地下深部のマグマの供給によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が続いています。2011年頃から鈍化していましたが、2013年8月頃から再び膨張傾向がみられます。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

### **三宅島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年2月以降はやや少量となっています。三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

GNSS<sup>1)</sup>連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞しています。島の長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに警戒してください。

### **西之島[火口周辺警報(入山危険)及び火山現象に関する海上警報]**

海上保安庁等の観測によると、噴火及び溶岩の流出が継続し、新たに形成された陸地の拡大が確認されています。

16日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、島の中央にある火砕丘の火口からは短い間隔で溶岩片と共に褐色の噴煙を放出する噴火(ストロンボリ式噴火)を繰り返していました。9月17日の調査時に確認された火口列はなく、一つのすり鉢状の地形を形成しているのが確認されました。火砕丘山腹の北側からは溶岩流が流出して広がり、西之島旧島の大部分を覆っていました。また、新たな陸地は、溶岩流により前回の調査時(9月17日)と比較して北方向へ約250～400m広がり、大きさは、東西方向に約1,530m、南北方向に約1,720m、面積は約1.85km<sup>2</sup>(前回9月17日:1.49km<sup>2</sup>)でした。島の周辺では、薄い茶褐色の変色水が分布していました。

西之島では、今後も噴火が続くおそれがありますので、西之島の中心から概ね6km以内の範囲では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

### **硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]**

火山性地震の発生はやや少ない状態で経過しています。火山性微動は時々発生しました。

GNSS<sup>1)</sup>連続観測によると、地殻変動は2014年2月下旬頃から隆起の傾向がみられていましたが、9

月頃から停滞の傾向です。その他の観測データに特段の異常は認められませんでした。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

### **福德岡ノ場[噴火警報(周辺海域)及び火山現象に関する海上警報]**

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの上空からの観測によると、福德岡ノ場では長期にわたりしばしば火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

### **阿蘇山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

24日の現地観測で、中岳第一火口周辺でわずかな火山灰が認められました。遠望観測ではこの時間帯は天候不良のため噴煙は不明でしたが、22日夜遅くから23日未明にかけて周期の短い火山性微動が発生していたことから、この期間にごく小規模な噴火が発生したと考えられます。

孤立型微動や火山性地震は多い状態で、火口内も高温の状態を経過するなど、火山活動は高まった状態が続いています。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

### **霧島山（新燃岳）[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

GNSS<sup>1)</sup>観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していましたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられます。

新燃岳火口直下を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しました。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

### **霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）[火口周辺警報(火口周辺危険)] ←24日に火口周辺警報（火口周辺危険）に引上げ**

2013年12月以降、韓国岳付近、韓国岳北東側、硫黄山付近で火山性地震が時々発生しています。

2014年8月20日に、硫黄山付近を震源とする継続時間約7分の火山性微動が発生しました。微動の発生に伴い傾斜計で硫黄山の北西が隆起するような変動が観測されました。

これらのことから、えびの高原（硫黄山）周辺では火山活動が高まっており、噴気や火山ガスなどが噴出し、今後の状況によっては小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断し、24日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。

えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には、泥流は土石流に注意してください。

### **桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

昭和火口では、爆発的噴火が19回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

大きな噴石が4合目（昭和火口より800m～1,300m）まで達する爆発的噴火は、8回発生しました。噴煙の高さの最高は、24日12時05分の爆発的噴火による火口縁上3,200mでした。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

### **口永良部島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

口永良部島では噴火は発生しませんでした。火山性地震が時々発生し、火山ガスも噴火前より多い状況で経過しており、引き続き、火山活動は高まった状態で経過しています。

7日及び8日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は、両日とも1日あたり500トン(前回9月12日:300トン)と、噴火前(5月21日:60トン)よりも多い状態でした。また、新岳火口および西側割れ目付近で噴煙が上がっているのを確認した他、新たに新岳の南西斜面で噴煙が上がっているのを確認しました。赤外熱映像装置による観測では、引き続き新岳火口縁の西側および西側の割れ目付近で熱異常域を確認したほか、南西斜面の新たな噴気地帯も熱異常域となっているのを確認しました。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

### **諏訪之瀬島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

御岳火口では、7日、17~21日にかけて噴火が発生しました。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、25日に島内で鳴動が確認されましたが、集落(御岳の南南西約4km)では降灰は確認されませんでした。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

(火山の順は活火山総覧(第4版)による)

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成26年11月11日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサスプリ	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
	九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）
九重山		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
阿蘇山		火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
雲仙岳		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
霧島山（新燃岳）		火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
霧島山（御鉢）		噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）		火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険）
桜島		火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）警報及び予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

## （2）その他の活火山

以下の活火山（\*印を除く）では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、\*印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山